

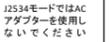
MST-7R J2534ソフト インストールガイド

重要：ご使用前に必ずお読み下さい。

この度はMST-7R J2534オプションソフトをご購入いただき誠にありがとうございます。本書を参考にソフトのダウンロードとインストールを実施して下さい。

1. J2534 ソフト付属品の確認

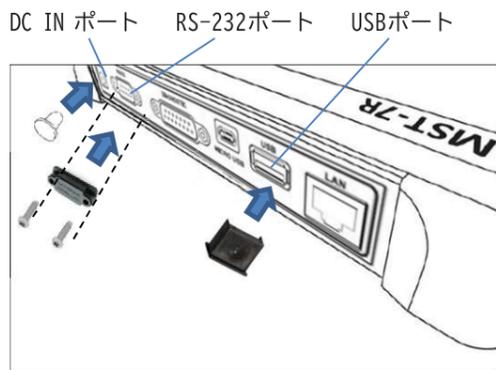
製品がすべて揃っていることをご確認ください。

-  micro USB ケーブル3m (1本)
-  DC INポート 保護キャップ (1個)
-  USBポート 保護キャップ (1個)
-  RS-232ポート 保護キャップ (1個)
-  樹脂製ネジ (2個)
-  本体型ラベル (1枚)
-  ACアダプタ ラベル (1枚)

・万一、不足品や製品の一部が破損していた場合は、お買上げ日から1ヶ月以内にお買い上げの販売店へお申し付けください。
・セット内の製品は品質向上のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2. 付属品の装着

1. DC INポート、RS-232ポート、USBポート保護キャップ装着図



2. 本体裏面型式ラベル貼付け図

もともと貼付けられている型式ラベルをはがし、新しい型式ラベルを同じ位置に貼付けてください。



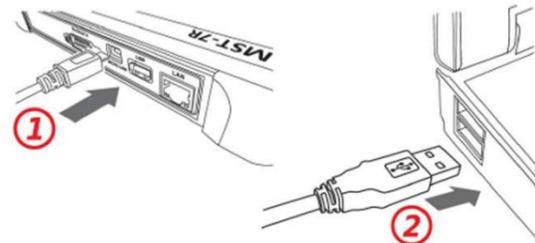
3. ACアダプタラベル貼付け図

ACアダプタラベルを所定の位置に貼付けてください。



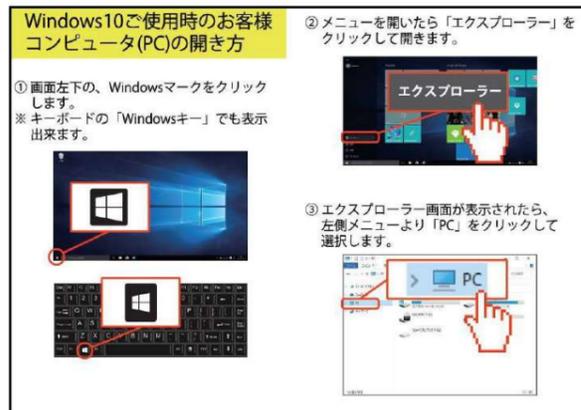
3. パソコンとの接続とファイルの表示

1. 付属のmicro USBケーブルを使用して本体のmicro USBポートとパソコンのUSBポートを接続します。本体画面にUSBケーブルのイラストが表示されPC接続モードになります。



・パソコンとの接続は、必ず付属のmicro USBケーブルをご使用ください。
・インターネット接続されているパソコンで実施して下さい。

2. デスクトップ上の「コンピューター」または「PC」をダブルクリックします。



4. アップデート

※UPDATEプログラムはWindows10以降に対応しています。

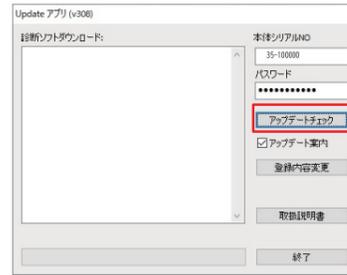
1. エクスプローラーが起動します。「リムーバブル記憶域があるデバイス」または「デバイスとドライブ」に「MST-7R」が表示されます。「MST-7R」をダブルクリックします。ファイルが多数表示されます。



2. 「MST.exe」(アプリケーション) をダブルクリックします。

pass	構成設定
prod-inf.dat	DAT ファイル
MST.exe	アプリケーション
uni2sjis.dat	DAT ファイル
ver.dat	DAT ファイル

3. 「Update アプリ」の「アップデートチェック」をクリックします。



4. ダウンロードが開始され、本体内に保存されます。



5. アップデートが完了すると「アップデート完了」が表示されます。[OK]をクリックしてアプリケーションを終了してください。



・「書き込みできません」のエラーが表示された場合は、セキュリティソフトにより外部記憶媒体への書き込みが禁止されていないか確認してください。
・管理者権限のあるアカウントで実行されているか確認して下さい。

6. 以上でアップデートが完了しました。次にOBD検査で使用されるパソコンに「J2534 Utility」をインストールします。「5. J2534 Utility のインストール」に続きます。

注意

セキュリティソフトについて

本体をパソコンに接続した場合や、「MST.exe」(アプリケーション) を実行した場合に、セキュリティソフトが反応してアプリケーションを削除、または隔離したり、通信をブロックすることがあります。その場合は、セキュリティソフトの設定を変更していただく必要があります。

MST.exe (アプリケーション) について

万が一アプリケーションが削除された場合は、下記リンク先よりダウンロードして、本体内に保存してください。

<http://www.scantool.jp/downloads/mst/MST.exe>

アップデート時のエラーについて

「書き込み出来ません」などのエラーが発生してアップデートが正常に行えない場合は、セキュリティソフトの設定を確認していただくとともに、本体内部メモリのフォーマットが必要な場合があります。フォーマット前にアップデート期間内であることを確認いただき、以下のファイルをパソコンにコピーして保存してください。

- ・MST.exe (アプリケーション)
- ・pass.ini (構成設定ファイル)

保存後フォーマットを行います。フォーマット後保存した2つのファイルを、本体内部メモリに戻して再度アップデートを行ってください。

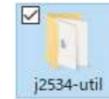
取り外すには

「ハードウェアの安全な取り外し」を実行した後に取り外してください。

5. J2534 Utility のインストール

・以下の手順はOBD検査でご使用されるパソコンで行います。本書の「3. パソコンとの接続とファイルの表示」を参考に本体とパソコンを接続してください。

1. アップデートが正常に完了すると、本体内に「J2534 Utility」が保存されます。「support」→「win-app」→「j2534-util」フォルダの順に開きます。

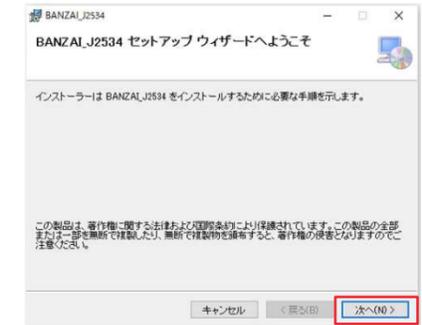


2. フォルダ内の「BANZAI_J2534_Installer.msi」をダブルクリックして実行します。



・ファイルを実行する操作については、ご使用のパソコンの設定に従ってください。

3. インストーラーが起動します。[次へ]をクリックします。



4. インストール先を確認するダイアログが表示されます。[次へ]をクリックします。

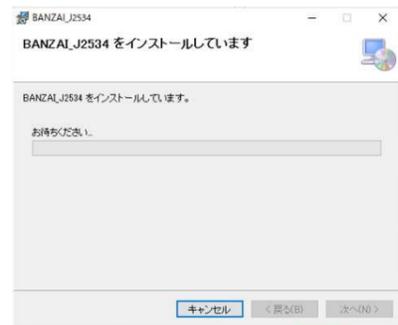


・インストール先を変更する場合は[参照]をクリックして保存先を指定してください。

5. [次へ]をクリックしてインストールを開始します。



6. インストールが始まります。



・下記ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は [はい] をクリックして許可してください。



7. インストールが完了しました。 [閉じる] をクリックして終了します。



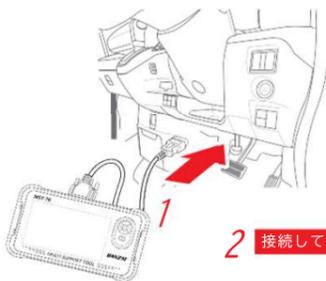
8. インストールが完了するとデスクトップに 「J2534 Utility」 のショートカットが 生成されます。



・インストール完了後は「ハードウェアの安全な取り外し」を実行して 一旦本体を取り外してください。

6. J2534 Utilityで本体をパソコンにセットアップ

1. 車両がイグニッション “OFF” であることを確認します。 本体を車両の OBD2 コネクタに接続してからイグニッション “ON” または必要に応じてエンジンを始動してください。



2

接続してからイグニッションON



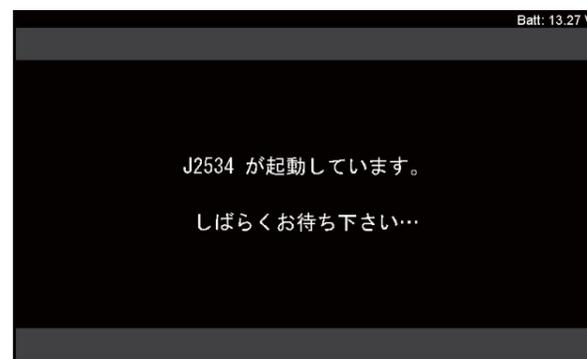
2. MST-7Rが起動してメインメニューが表示されます。メインメニューから「特殊機能」 を選択します。



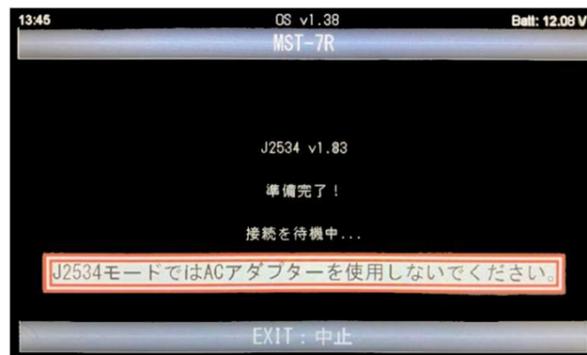
3. 続いて「J2534」 を選択します。



4. 「J2534」 ソフトが起動します。

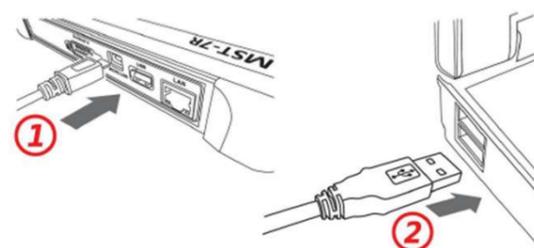


5. しばらくすると「準備完了」画面が表示されます。 MST-7Rはこの状態で待機します。



・ J2534モードで（検査用スキャンツールとして）使用する場合は、ACアダプターを使用しないでください。正しく検査ができない可能性があります。

6. 付属の micro USBケーブルを使用して本体のmicro USBポートとOBD検査で使用されるパソコンのUSBポートを接続します。



・micro USB ケーブルは必ず先に本体に接続した後、パソコンに接続してください。順番を間違えると認識しない場合があります。

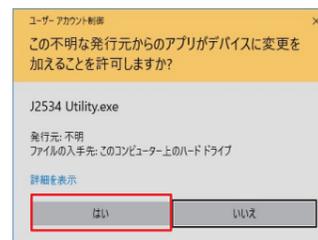


・パソコンとの接続は、必ず付属のmicro USB ケーブルをご使用ください。
・初回接続時は「デバイスのセットアップ」ダイアログが表示され、セットアップが自動で始まります。
・「デバイスの準備ができました」ダイアログが表示されてセットアップが終了するまでお待ちください。

8. デスクトップの「J2534 Utility」を起動します。



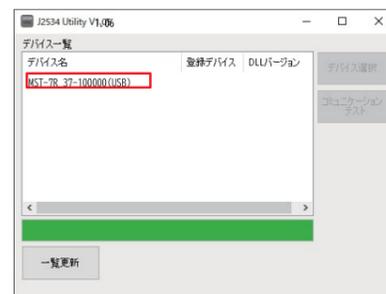
・下記ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は [はい] をクリックして許可してください。



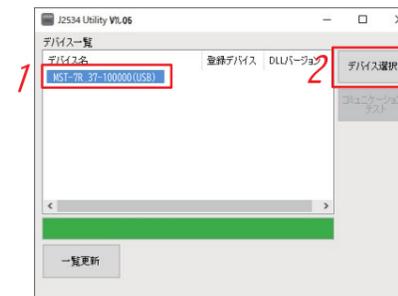
9. 起動すると、接続されている本体（デバイス）の検索が始まります。



10. 接続した本体がデバイス一覧に表示されます。

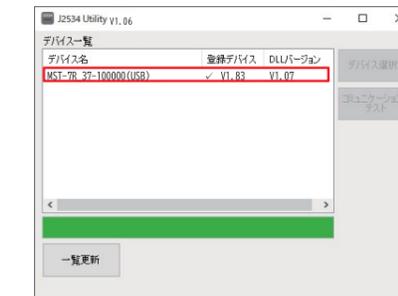


11. 接続した本体のシリアル番号とデバイス一覧に表示されたシリアル番号が一致していることを確認して、デバイス名をクリックして選択し [デバイス選択] をクリックします。



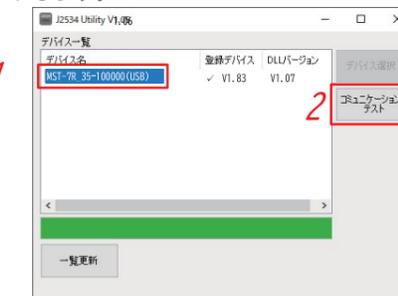
・本体のシリアル番号は本体裏面のシールに記載されています。例) S/N : 37-100000

12. 「登録デバイス」「DLL バージョン」欄にバージョンが表示され、接続された本体がデバイスとして登録されました。



13. 続いてコミュニケーションテストを実施します。デバイス名をクリックして選択し [コミュニケーションテスト] をクリックします。

1



14. コミュニケーションテストが完了すると「正常に完了しました」ダイアログが表示されます。[OK] をクリックしてダイアログを閉じ、「J2534 Utility」を [x] をクリックして終了します。以上でセットアップは完了です。



15. 特定 DTC 照会アプリを起動して OBD 検査を行ってください。



・特定 DTC 照会アプリについては 「OBD 検査ポータル」 サイトをご覧ください。
・セットアップが完了したデバイス名（「MST-7R」シリアル番号（USB）」が特定 DTC アプリの検査用スキャンツール欄に表示されます。1台のパソコンで複数台セットアップされている場合はプルダウンリストから現在接続されているデバイスを選択してください。